

		チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	余裕を持ったスペースの確保ができています。施設内に段差などなく、スムーズに出入りが出来る。 送迎でスタッフが抜ける時間等、見守りを行うスタッフを十分に配置したり、職員数に応じて利用児童数を調整しているのは良いが、在籍職員数が少ない。
	②	職員の配置数は適切であるか	どちらともいえない	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	
業務改善	④	業務改善を進めるためのP C D Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	どちらともいえない	日々の朝礼・終礼で情報共有や支援内容の振り返りを行っているが、定期的なミーティングを行う時間を確保できていない。朝礼・終礼に参加できないスタッフもいるため、全員での話し合いの時間の確保が難しい。  定期的な事業所内研修(防災・救急・虐待防止・身体拘束・感染症・専門研修等)の実施や自立支援協議会等が開催する外部研修へ参加している。また参加できないスタッフへ向けて施設内で伝達講習などを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい	
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析で放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい	日々の朝礼・終礼で情報共有や支援内容の振り返りと今後の課題について分析し、計画・立案やアセスメント等、1人1人の子どもに対してしっかりと行っている。朝礼・終礼に参加できないスタッフもいるが、個別で情報共有ができる時間を確保するようにしている。  日々の活動については季節の行事を取り入れた活動を行っている。年中行事や外での活動を通して季節を感じてもらえるようにスタッフ間で話し合い、季節毎に、その子どもに出来る遊びやイベントなどを行っている。  話し合った内容などを共通理解出来るよう努め、目標をもって活動が出来るように工夫している。  毎日、朝礼で申し送り事項の確認を行うとともに、その日の活動の流れなど、支援の内容や役割分担について確認し、職員間で共有できるようにしている。  毎日、終礼で一日の振り返りを行っている。また、日報を作成し、職員間で共有できるようにしている。
	⑨	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	
	⑩	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	はい	
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい	
	⑬	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい	
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	

	⑬	定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	はい	定期的にモニタリング会議を実施し、支援内容の振り返りと分析、計画書の見直しを行っている。
	⑭	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	はい	
関係機関や保護者との連携。連携関係機関や保護者との連携。	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	はい	担当者会議に積極的に出席し、保護者や各関係機関との情報共有を行っている。また出席していないスタッフへ伝達することで事業所内でも共有出来るようにしている。 情報共有については保護者からの場合が多いが、スケジュール管理等含め漏れがないように学校との連絡を細目に行い、情報共有している。また、他事業所とも連携を密にすることで、ご利用者様の現状や課題等について情報共有出来ている。 医療的ケアが必要な子どもが利用する際には主治医に指示書を依頼しており、不明な点があれば確認をおこなっている。 トラブル等の時にはスタッフの周知を迅速に行い、問題解決に繋がると共に今後の対策についてスタッフ間で協議している。
	⑯	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	はい	
	⑰	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	はい	
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	どちらともいえない	
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	はい	
	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい	
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	どちらともいえない	
	㉒	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	どちらともいえない	
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	自立支援協議会が主催する研修会や会議に積極的に参加し、他事業所との情報交換を行っている。 送迎時や活動報告書にて、ご家族とご自宅やデイサービスでの体調や活動内容等について情報共有を行っている。ご利用時の状況を丁寧にご家族へ報告している
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか。	はい	契約の際に、契約書とパンフレットを用いて説明を行っている。不明点が有ればいつでも質問して頂き、返答している。また、支援内容等に関する質問やご意見をいただいた際には、迅速に返答するように努めている。 現在は、保護者会を開催出来ていない。今後、社会情勢を踏まえ、再開していきたい。 保護者が望む場合など必要に応じて保護者同士が連携をとれるように支援していく。 毎月お便りを作成し、デイサービスでの活動の様子を写真でもみていただけるようにしている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	どちらともいえない	
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	

	③①	個人情報に十分注意しているか	はい	個人情報の取り扱いについては、事業所外に情報を持ち出さないように配慮するとともに、写真等の掲載に関しては事前に説明と同意を許可を得た場合のみ使用している。
	③②	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	個々の子どもに応じて適切なコミュニケーション方法（声、サイン、代替コミュニケーション機器）についてご家族や学校や他事業所との情報共有を行なっている。
	③③	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	はい	ハロウィン等の行事の際に、地域の方にご協力を頂いたり、お散歩の時等近くの店や施設へ立ち寄りたりして地域交流の機会を持っている。
非常時等の対応	③④	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	はい	各種マニュアルを作成しており、マニュアルに従って対応している。緊急時の対応方法については、契約時に保護者に確認し、緊急対応カードを作成しており、定期的な見直しを行っている。
	③⑤	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	消防署の指導の下、避難訓練を行っている。身体拘束という目的ではないが、安全確保のため、必要に応じてベルトによる固定を行なっている。虐待に繋がるようなケアが行われないように、職員間で互いに注意し合いながら子どもたちと関わっている。
	③⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい	自立支援協議会(春日市)が開催する『虐待防止・身体拘束』研修に出席すると共に、出席し出来ないスタッフへの伝達講習を行うことで、スタッフの意識を高めている。虐待に繋がるようなケアが行われないように、職員間で互いに注意し合いながら子どもたちと関わっている。
	③⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	はい	アレルギーの有無は、保護者からの聞き取りを行って対応している。
	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	はい	ヒヤリハットについては、報告書を作成し、ミーティングを通して対応方法を振り返り、改善策について話し合っている。
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい	